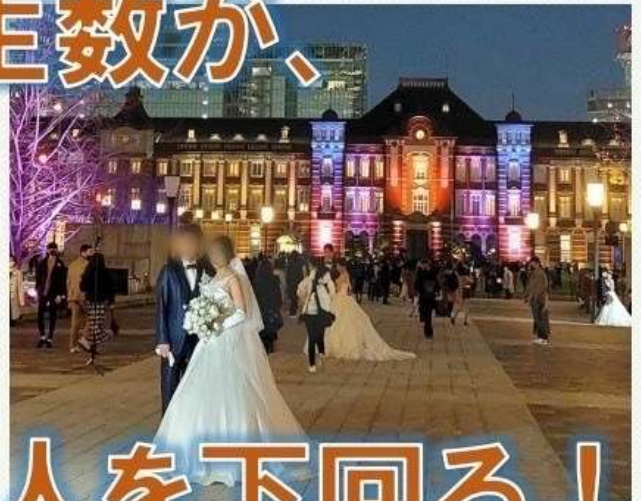




## 2024年の出生数が、



## 70万人を下回る!

厚労省の研究機関では、「2038年に70万人を下回る。」と  
想定をしていましたが、これが14年も早まっています。

マスコミ報道によりますと、2024年に国内で生まれた日本人の子供は「68万7,000人程度」と推計されました。初めて80万人を割ったのは2022年で、日本の少子化に歯止めがかかりません。なお今年の婚姻数は、昨年の47万4741組で、横ばいを見込んでいます。日本の2022年の年間平均賃金は「4万1509ドル（ドル換算）」で、この30年間ほぼ変わらずになっています。これは、先進7か国(G7)の中で最下位です。

「少子化」、「高齢化社会」、「首都圏への一極集中と地方都市や自治体の消滅」など、日本の近未来は“誰もが安心して暮らせる社会”になるのでしょうか?そして、このような社会状況の中に私たちのJR東日本会社も突き進んでいきます。

マスコミでは「大都市の鉄道会社が人口減の社会において鉄道事業を続けながら、新たな収入を確保しようとするなら、まずは駅の機能を強化すること。新たな暮らし方の創造」などと提起をしています。

会社の施策が様々進む中でも、私達は「組合員と家族の未来」「利用者から安心されるJR東日本」「職場であふれる笑顔と働きがい」を追求していきましょう。

**“経済を回すこと”を考えた社会ですが、国民の誰もが安心して過ごせる近未来なのでしょうか?**